

今号は、第4回モニター調査で寄せられたコメントをまとめました。モニター通信では、皆さまからいただいたご意見やご感想のいくつかを紙面と合わせて紹介します（スペースの都合でコメントの一部を割愛するなどの編集を行う場合があります）。モニター活動の参考にしてください。

■12月11日（土）～ 12月17日（金） 629件のコメントをいただきました。

12月15日（水）朝刊第1社会面

何のための給付金？＊10万円現金一括容認＊二転三転する制度 道民困惑

何が正しい情報なのかわからない。そういった中で本記事はこれまでの流れを図示しており、非常に分かりやすい。（50代）

本当にこの見出しの通りに思っていたので、とても腑に落ちた。本当に困っている人の所に届かない、こんな政策は選挙のための愚策のような気がしてならない。問題点の経過の表がわかりやすく見やすかった。（40代）

記事中の「給付金の趣旨がぶれている」あたりを掘り下げるとよかったのではないのでしょうか。所得制限とかクーポンが主な問題ではないような気がします。（50代）

たくさんの給付金が国から支給されているが、どれも問題あるようで、本当に必要なのところに、より良い方法で給付されるのか、対象外である私にとっては疑問。（60代）

色つきで、問題点の二転三転の流れがよくわかった。記事では子供のいる給付対象者の声だけだったが、給付対象ではない人の意見も聞きたかった。（40代）

ばらまき給付金は、国の負債。結局、国民にのしかかってくるのかと思うと複雑です。（50代）

12月17日（金）朝刊第1社会面

ヒグマで死傷 最多12人＊本年度＊生息域も拡大傾向

死傷者が過去最多とは驚いた。記事では全く触れられていないが、ヒグマに出会った時の対処法や山林に入る時の注意事項など、専門家の意見も聞きたかった。（50代）

今季のヒグマ被害がどれ程多かったかや被害傾向など、これまでにない実態がよくわかる見出しだった。（40代）

何のための給付金？

支給対象

18歳以下の子どもがいる世帯
(年25万円未満)
・子どもが18歳以上の世帯は対象外
・夫婦どちらかの年収が980万円以上は対象外
・世帯収入が高額でも支給対象になる

支給方法

現金5万円・クーポン5万円分
(クーポンは使い道を子育て支援に限定、消費も可能)
・クーポン発行で事業費が467億円増加
・事務作業が増える自治体にも不満

岸田政権が方針転換

・10万円全額を現金給付も考慮
・食生活による所得制限撤廃も考慮

新たな問題点

・防衛などに振り、子育てに使えない可能性
・居住地によって所得制限の有無が変わる不公平感

10万円給付の政策目的がさらに曖昧に

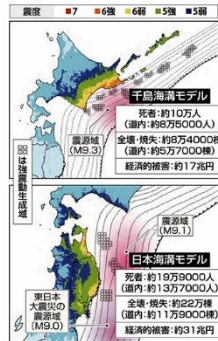
・「子育て支援」が主目的で、現金給付は「緊急時の対応」
・「子育て支援」が主目的で、現金給付は「緊急時の対応」
・「子育て支援」が主目的で、現金給付は「緊急時の対応」

10万円現金一括容認

「クーポンは時間と手間がかかるし、現金の方が使い勝手がいい」という声も少なくない。現金一括容認は、子育て支援の効果を高めるという考えもある。一方で、現金一括容認は、子育て支援の効果を高めるという考えもある。一方で、現金一括容認は、子育て支援の効果を高めるという考えもある。

二転三転する制度 道民困惑

想定される最大規模の被害(地震M9級)



日本・千島海溝地震

道内死者最大13万7000人

早期避難なら8割減

政府は11日、日本列島の陸地と周辺に広がる千島海溝を震源とする巨大地震の被害想定を発表した。規模マグニチュード(M)9の地震が、道内の最大規模の地震と想定された。道内では、千島海溝を震源とする巨大地震の被害想定が初めて発表された。政府は、早期避難を促すことで、死者を8割減らすことが可能と推定している。

政府想定

関連ニュース
▼道内発表
▼道外発表
▼被害想定
▼早期避難

千島海溝モデル
死者:約10万人
(道内:約8万5000人)
全壊:約8万4000棟
(道内:約5万7000棟)
経済的被害:約17兆円

日本海溝モデル
死者:約19万9000人
(道内:約13万7000人)
全壊:約22万2000棟
(道内:約11万9000棟)
経済的被害:約31兆円

想定される最大規模の被害(地震M9級)は、千島海溝を震源とする巨大地震の被害想定を発表した。規模マグニチュード(M)9の地震が、道内の最大規模の地震と想定された。道内では、千島海溝を震源とする巨大地震の被害想定が初めて発表された。政府は、早期避難を促すことで、死者を8割減らすことが可能と推定している。

速報性と内容量から見て週刊誌やTV、インターネットなどでは出来ない事だと感じた。これらの様々な指摘を生かし今後の対策を急がねばならないが、追跡報道が望まれる。(70代)

かなり具体的に被害想定もしているようだが、原発やブラックアウトには、言及していないとのこと。想定されることなのに触れられていないのは問題だと思う。そこをクローズアップして記事を構成してほしい。(50代)

南海トラフ大地震の方にばかり注目されがちだったが、千島海溝を震源とする地震があることを初めて知って驚いた。(20代)

非常に国民の不安をあおっている記事だと思います。具体的な対処方法などを記事にしてくれたら、心構えもできると思います。(50代)

その他の想定パターンでの数字も見て、比べられると良いと思いました。大きい数字だけ示されると、読んだ人に必要のない不安を与える可能性があると思う。(30代)

1月8日(土)～1月14日(金) 670件のコメントをいただきました。

1月11日(火) 朝刊第2社会面 ホステスから農家へ＊新里さん、南幌に菜園 札幌で提供店も



札幌・スナールのホステスから、新里さん(50代)が、南幌に菜園を開設し、札幌で提供店も。新里さんは、ホステスとして働いていたが、最近、健康を気にして、野菜を育てることにした。南幌に菜園を開設し、札幌で提供店も。新里さんは、ホステスとして働いていたが、最近、健康を気にして、野菜を育てることにした。

ホステスから農家へ



「社会へ出ることに難しさを感じる人もいます。そういう人を助けたい」と話す新里さん。南幌で提供店も。

新里さん南幌に菜園 札幌で提供店も

新里さんは、ホステスとして働いていたが、最近、健康を気にして、野菜を育てることにした。南幌に菜園を開設し、札幌で提供店も。新里さんは、ホステスとして働いていたが、最近、健康を気にして、野菜を育てることにした。

「生きづらい人受け入れる場に」

新里さんは、ホステスとして働いていたが、最近、健康を気にして、野菜を育てることにした。南幌に菜園を開設し、札幌で提供店も。新里さんは、ホステスとして働いていたが、最近、健康を気にして、野菜を育てることにした。



新里さんのインタビューがとても人間らしく悩みながら時間を過ごしていたことがとても伝わった。自分ら学生にとってもひとつ共感できる話で、このような記事をもっと見たいと思った。(10代)

感動的な内容が多く、とてもいい記事でした。写真も印象的でした。(50代)

取り上げた方の物語を読んでいるようでした。本人提供の収穫風景写真があったことも良かったです。(30代)

子供のころの苦勞、これまで仕事などの話を、よくここまで取材できたことに敬意を表します。(70代)

新里さんのように感じ考える人は少なくないし、こういった方の取り組みをもっと取り上げてほしい。(40代)

写真も新里さんの飾らない笑顔とフレッシュな野菜果物、美味しそうな加工品がきれいに撮れていて素敵です。これからも若手の方達の紹介記事をみたいです。(50代)